〈マンガ感想文コンクール２０２２〉

学校名（熊本県熊本市立秋津小学校）（　６　）**年**　**名前**（　田中　萌果　）

題名：「育児は事件！？」**読んだマンガ**：「じじいくじ」

私が絶対に自分では選ばない本、「じじいくじ」。この本は母にすすめられました。普段、私が読んでいる本に登場する赤ちゃんは、とてもかわいく描かれているので、初めてこの本の表紙を見た時は、「あまりかわいい絵じゃないな。リアル過ぎて赤ちゃんもかわいくないし、内容も難しそうだな。」と思いました。しかし、夏休み中に読みたい本は読み終わったし、時間もいっぱいあるから読んでみると、リアルな絵だからこそ育児の大変さが伝わってくるし、おもしろい場面も多くて、すっかりこの本にはまってしまいました。

この本は、元刑事のおじいちゃんが初孫の育児を手伝うお話です。おじいちゃんはまじめに、一生けん命育児をするのですが、思わぬところでピンチになったり、予測不能なことが起きたりします。例えば、孫に向きぐせがついて頭部が変形した時も、「難事件」と言っていました。私は「さすが元刑事、でも事件だなんて大げさだな。」と笑ってしまい

〈マンガ感想文コンクール２０２２〉

学校名（熊本県熊本市立秋津小学校）（　６　）**年**　**名前**（　田中　萌果　）

題名：「育児は事件！？」**読んだマンガ**：「じじいくじ」

ました。他にも出産後、お母さんの体力が落ちていて、ね不足で大変なことも描かれています。母に「私が赤ちゃんの頃も、こんなに大変だったの？」と聞くと、母は「もっと大変だったよ。」と言いました。親からすると、育児は事件の連続らしいです。出産や育児は、こんなにも大変なのかと、自分が親になって本当に出来るのか心配になりました。

私の母方の祖父は、私が五才の時に亡くなりました。病気で元気じゃない時の記憶しかありません。祖母も母が二十才の時に亡くなったので、祖父は私をお風呂に入れてくれたり祖母の分も育児を手伝ってくれたようです。このお話のおじいちゃんが段々と祖父に見えてきて、元気だった頃の祖父を想像出来てうれしくなりました。

この本を読むと、育児の大変さやありがたさが分かるので、同じ世代の人にもたくさん読んで欲しいと思いました。